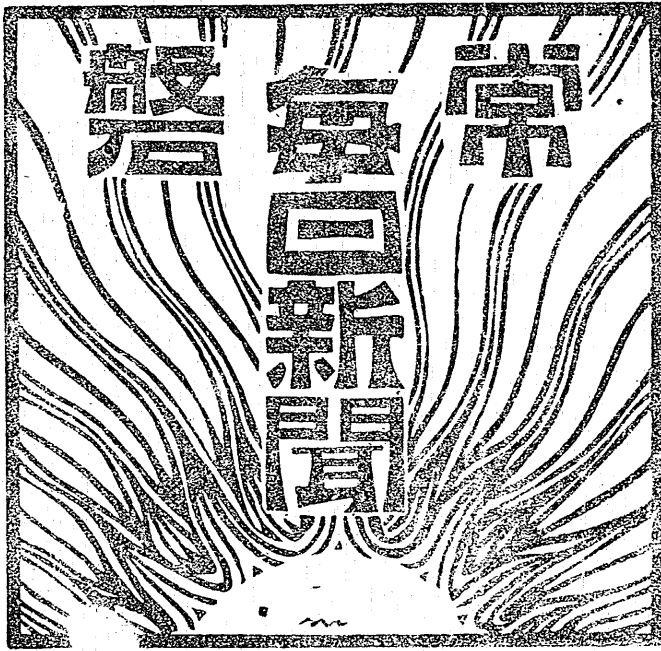


日刊 發行部編者人 川崎文台 本社下町番地 電話六三〇番



刊夕日七月一

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元 郵費別 零售每份五分

常盤論壇 景氣の根柢 (40) 經濟學博士太田正孝氏述 景氣の根柢 (40) 經濟學博士太田正孝氏述 景氣の根柢 (40) 經濟學博士太田正孝氏述

然らば國民經濟をどうして 吾々は整理をするか恰度泥 濘道を足駄を履いて行くや

失禮な事を申げるやうです がお役人方にも本當に勤儉 貯蓄と云ふ意味がお分りに



外科 赤心堂病院 田町 電話四七五番

貸家 商店向 中野勇吉

三幸堂樂器店 着ナフトール 尺八、明笛 軍用ラッパ

優良樂器廉賣 ズアイオリン マンドリン

内科 小兒科 花柳病科 藤沼醫院 電話五〇七番

外科 上田外科醫院 入院應需 電話一二九番

理化學研究所製 吸入用酸素 吸入器 優良なる理研の酸素の御用意を

町平 町吉田眼科醫院

痔の大妙藥 最近發見劑 外用「リツト」金三十錢以上

城盤共濟病院 病院組織 内科、小兒科 外科、皮膚泌尿科

久益屋商店 賣れ行きが事實を證明する 品質聲價共に拔群の!!

貨物の動きから 視へた産業現勢

一般退嬰的傾向だが 平驛の發送は増加

平税務署では管内主要驛に於て貨物の移動調査を行ひ營業收益税調査資料其他各方面の參考に供してゐるが其結果に よる昭和二年度上半期の平、四倉、綴、湯本、川前、植田、泉各驛に於ける發着噸數は左表の通りで總体から見ると前年同期に比し發送六分二厘到着八分の何れも減を示し平の如き發送は四分二厘の増を見てゐるが到着に於て二割六分九厘の減を示し物資消化力の衰頽を物語つて ぬる其内四倉及植田の到着に於て増を示してゐるのに四倉がセメント材料の激増した結果と植田の如き近時工業會社の勃興による貨物の集來と苗木蒔等移入が隆盛になつた結果によるもので一般から見ると石城産業の凋落の傾向を暗示してゐる

平第二校長 原田氏轉任

後任は有為の人材

平第二小學校校長原田兼次氏は六日附を以つて若松第二小學校に轉任の辭令に接したが後任は白河第一小學校の佐藤一氏であつて本縣教育界に於て有為の人材を以つて目されつゝ、あゝ人であるから今後の平町教育界の刷新上期待すべきものが多し

日用品物價

平町去月中の

平町去月中の日用品物價は左記の通りで目立つた騰落はなかつた

品名	前年同期	比較
白米一等三十五錢	二二	一六、八〇六
白米二等三十三錢	二二	一六、七三六
白米三等三十一錢	二二	一六、六六六
白米四等二十九錢	二二	一六、五九六
白米五等二十七錢	二二	一六、五二六
白米六等二十五錢	二二	一六、四五六
白米七等二十三錢	二二	一六、三八六
白米八等二十一錢	二二	一六、三一六
白米九等十九錢	二二	一六、二四六
白米十等十七錢	二二	一六、一七六
白米十一等十五錢	二二	一六、一〇六
白米十二等十三錢	二二	一六、〇三六
白米十三等十一錢	二二	一五、九六六
白米十四等九錢	二二	一五、八九六
白米十五等七錢	二二	一五、八二六
白米十六等五錢	二二	一五、七五六
白米十七等三錢	二二	一五、六八六
白米十八等一錢	二二	一五、六一六
白米十九等九錢	二二	一五、五四六
白米二十等七錢	二二	一五、四七六
白米二十一等五錢	二二	一五、四〇六
白米二十二等三錢	二二	一五、三三六
白米二十三等一錢	二二	一五、二六六
白米二十四等九錢	二二	一五、一九六
白米二十五等七錢	二二	一五、一二六
白米二十六等五錢	二二	一五、〇五六
白米二十七等三錢	二二	一四、九八六
白米二十八等一錢	二二	一四、九一六
白米二十九等九錢	二二	一四、八四六
白米三十等七錢	二二	一四、七七六
白米三十一等五錢	二二	一四、七〇六
白米三十二等三錢	二二	一四、六三六
白米三十三等一錢	二二	一四、五六六
白米三十四等九錢	二二	一四、四八六
白米三十五等七錢	二二	一四、四一六
白米三十六等五錢	二二	一四、三四六
白米三十七等三錢	二二	一四、二七六
白米三十八等一錢	二二	一四、二〇六
白米三十九等九錢	二二	一四、一三六
白米四十等七錢	二二	一四、〇六六
白米四十一等五錢	二二	一四、〇〇〇
白米四十二等三錢	二二	一三、九三〇
白米四十三等一錢	二二	一三、八六〇
白米四十四等九錢	二二	一三、七九〇
白米四十五等七錢	二二	一三、七二〇
白米四十六等五錢	二二	一三、六五〇
白米四十七等三錢	二二	一三、五八〇
白米四十八等一錢	二二	一三、五一〇
白米四十九等九錢	二二	一三、四四〇
白米五十等七錢	二二	一三、三七〇
白米五十一等五錢	二二	一三、三〇〇
白米五十二等三錢	二二	一三、二三〇
白米五十三等一錢	二二	一三、一六〇
白米五十四等九錢	二二	一三、〇九〇
白米五十五等七錢	二二	一三、〇二〇
白米五十六等五錢	二二	一二、九五〇
白米五十七等三錢	二二	一二、八八〇
白米五十八等一錢	二二	一二、八一〇
白米五十九等九錢	二二	一二、七四〇
白米六十等七錢	二二	一二、六七〇
白米六十一等五錢	二二	一二、六〇〇
白米六十二等三錢	二二	一二、五三〇
白米六十三等一錢	二二	一二、四六〇
白米六十四等九錢	二二	一二、三九〇
白米六十五等七錢	二二	一二、三二〇
白米六十六等五錢	二二	一二、二五〇
白米六十七等三錢	二二	一二、一八〇
白米六十八等一錢	二二	一二、一一〇
白米六十九等九錢	二二	一二、〇四〇
白米七十等七錢	二二	一二、〇〇〇

全山一萬の 淺野社長から

從業員へ寄贈

磐炭社長淺野總一郎氏は三日午前十時から内郷村磐城

劇場に於て坑夫長屋世話役の選定による從業員男女千二百名に對し新年の挨拶及び今後の年産二百萬噸計畫(茨城を除く)をはじめ同社鑛區の埋藏炭量二億萬噸に對する今後の操業方針等に就き三十分間に亘つて説明する處あり、當日の會衆及び全山一萬の從業員に對し清酒、盃、手拭等を贈つたに對し磐炭會長廣松惣太郎氏の謝辭あり正午盛況裡に閉會した

自由競争から 欠損續きの炭礦界

矢鱈に投資して 一進も三進もゆかぬ

需要期に入つた常磐炭礦界は不景氣災害争議等に依る昭和二年度下半期に於ける欠損を補ふため販路の擴張採炭能率の増進等を圖つてゐるが、

從來まで は炭礦界相互に聯絡等あり炭價も畧協定されてゐたのであつたが、各炭礦共欠損を補はねばならない、状態に置かれてゐる、結果他と協調を保つてゐる、



冬の盆栽

梅、福壽草、其他西洋花等の盆栽は寒い風や夜氣にあつてますとすぐいたむことは

平地方の寒さ

二月末が頂上

平町地方に於ける舊臘中は近年稀な遅寒であつたが、一月以來除々に寒冷が襲來して來た小名濱測候所の觀測に依ると例年に於ける酷寒期は一月下旬より二月中旬にかけて居るにも拘らず本年は二月下旬頃に至つて相當猛烈な寒氣が襲つて來る模様である

成績の向上は 必然的結果

石城郡植田水力電氣株式會社では昨日午前十一時から重役會を開會金成社長、白井博之、高岡唯一郎、小林藏次、根本祐太郎、古川傳一、各重役出席今期利益處分案等を作成來十四日の株主總會に附議することとなつたが今期は期間中を通じて最も順調に推移したので隨つてその成績見るべきものあり、而も第二發電所の完成に伴ふ餘剰電力を完全に消化するに至らば今後における營業成績の向上は殆ど必然的結果として期待されてゐる

大浦校の新築 延期は不利益

結局は村會の決議通り 工事に着手せん

石城郡大浦村では小學校が狹隘を告げたゆで新築をすゝる事となり前縣會議員木村清治氏が熱心奔走した結果村債を寄附と縣補助をもつて鐵筋コンクリート總二階建の地方では稀に見る理想的小學校を建設する事に昨年末の村會に於て決議したが村内の中で今起債を起し村が負債をする事は問題であるから小學校建設工事は延期するが適當

であるとの意見を持つ者があつて縣當局に對し工事延期の請願をなす由であるが、同村小學校の建設について本村氏が奔走盡力し磐城セメント會社四ツ倉工業所から建築に使用するセメント材料の大半を寄附せしむる事と殊に請負者は

同地方 との關係深

き堀江工業會社が之を請負

各會社もこまりに切つてゐる、然しこのまゝ自由競争を續けにれば欠損に欠損を重ねる結果に陥る事は當然で炭礦業間に販賣價格の協定を説くものもあるから何らかの方法に保つて猛烈な自由競争も結着するものと觀測してゐるものもある兎に角常磐の炭礦界は 需要期に入つて尙ほ苦しんでゐる有様である

犠牲的に工事を進める事に大体決定を見てゐるのでこの際延期をする事は同村にとつて極めて不利益と説く者が多いので結局は村會の決議通り工事に着手するものと觀測される

鎌田遊廓で 刺身一皿が 三圓六十錢

悪辣極まる暴利振り

昨報田地を賣つた金を懐ろに舊臘三十一日夜から一日にかけて平町鎌田遊廓新甲子樓に流連し百七十餘圓の豪遊を極めた石城郡内郷村大字宮下山武之助(○)の勘

定書を調べて見ると刺身一皿三圓六十錢、月桂冠四合壘詰一本二圓、煮肴一皿一圓七十錢をはじめとして何れも意外な暴利を食つてゐる事が判つたので如何に世人が高きを認めてゐる遊里の慣はしとは言へ餘りの暴利を食つたことで嚴重取調た上悪辣なる手段で殊更多額の金を捲き上げんとする様々營業者に對して徹底的に取締る方針であると

恩給資格の 證明で多忙

愈々本月は小學校教員巡査

平町人事

出生

▲紺屋町三三 木下明治氏長男義一
▲古銀治町三一 若泉寅吉氏四女タカ子
▲堤の内一二 深谷榮三郎氏七男年雄

死亡

▲白銀町九 高木徳定氏六女スミ子
▲才橋小路二六 吉田廣三郎氏三男正三
▲紺屋町三 稻川春吉氏二男幸一
▲南町六一 岡崎章平氏二女ミヤ子
▲田町五四 青本榮一郎氏長女英